

お知らせ

欧文報告論文別刷代の改訂について

欧文報告に論文を掲載するのに必要な代金の推移は表のようになっていますが、昭和59年4月1日受け付けより表の最下行のように改訂いたします（昭和59年3月26日理事会決定）。

表からも判るように欧文報告掲載別刷代は1977年に値下げして以来、今日迄比較的低い水準におさえてきましたが、昭和58年度には当学会の財政状態も単年度の収支で約450万円の赤字となり、種々の見なおしが必要となりました。欧文報告掲載別刷代についてはこれを1975年の水準にもどした上、掲載料については若干の値上げのやむなきにいたりました。

尚、カラー実費としては、現在オフセット四色刷で1ページ当り100,000円程度かかります。

年度	Vo.	No.	掲載料	別刷代
		1/1~		2np
1967/42	19/1~	23/4	(30p+600)p	出版社請求の印刷費
'72/47	24/1~	27/1	(50p+1000)p	同上
'75/50	27/2~	29/1	(80p+1500)p +7000A	10np
'77/52	29/2~	34/1	(50p+1000)p +7000A	6np
'82/57	34/2~	現在	(50p+1000)p +7000A +100,000C	同上
'84/59	1984.4.1	受付より	(100p+2000)p +15,000A +カラー実費	10np

p: 刷上りページ数
n: 別刷部数
A: アート紙又は折込みの枚数プラス二色刷のページ数
C: フル・カラーのページ数

も触れている。これらの今日異端的(?)とされている宇宙論についても地球レベルの話と関連させながら紹介しているが、この部分は本書の中心的な話題とは多少それているので敢えて取り上げる必要はなかったのではないだろうか。

本書には所々に著者の研究生活上のエピソードが織りこまれていて、また外国の研究者についても簡単な研究歴が付け加えられていて非常に興味深い。良き道案内につきそわれて銀河団の間を散歩するうちに過去の銀河の姿を発見したような雰囲気になれる、そんな本である。

(石橋史朗)

◇ 5月の天文暦 ◇

日	時	記	事
1	13	朔	
3	17	土星	衝
4	22	水星	留
5	17	立夏	(太陽黄経 45°)
8	21	上弦	
11	18	火星	衝
12	12	月	最近
15	13	望	
19	20	火星	地球最近
20	5	水星	西方最大離角
21	6	小満	(太陽黄経 60°)
23	3	下弦	
24	10	月	最遠
31	2	朔	

(今月は「私と天文学」はお休みさせていただきます。)

◇ 5月の日月惑星運行図 ◇

